

2017年5月8日

各位

会社名 スズクホールディングス株式会社

代表者名 代表取締役会長 鈴木 孝雄

会社名 株式会社マテック

代表者名 代表取締役社長 杉山 博康

会社名 株式会社やまたけ

代表者名 代表取締役 山口 章

会社名 株式会社青南商事

代表者名 代表取締役 安東 元吉

問合せ先 スズクホールディングス株式会社

新規事業開発部 部長代理 丸 剛臣

(TEL. 03-5204-1889)

4 合弁事業契約書締結に関するお知らせ

スズクホールディングス株式会社、株式会社マテック、株式会社やまたけおよび株式会社青南商事は、本日、合弁事業契約を締結いたしました。

2017年7月をめどとして、各社が25%ずつ出資をし、東日本エリアをカバーする合弁会社を設立し、共同事業を行います。

1. 合弁会社設立の背景

(1) 資源価格の低迷と国内マーケットの縮小

世界経済危機以降の世界経済は、総需要の低下により経済成長が鈍化し、資源価格の低迷が続いています。また、マーケットがグローバル化しているため、より遠方への出荷が必要となり、世界的大企業が競合相手となっています。

一方、国内に目を向ければ、短期的には2020年の東京オリンピックに向けた建設需要等が見込めるものの、日本の総人口は徐々に減少し、長期的な国内リサイクル資源の発生・消費は減減していくことが想定されます。

(2) 世界におけるリサイクルニーズの高まり

日本では、2000年以降、循環型社会形成にむけた資源循環法体系が整備され、一定の成果をあげてきました。しかし、リサイクルに対する日本国民の意識は低下傾向にあり、廃棄物のリサイクル率についても近年頭打ちの傾向にあります。

一方、欧米では、消費された資源を回収し再生・再利用し続ける循環型の経済モデルである「サーキュラー・エコノミー」への転換が進んでいます。

(3) リサイクル業者の大規模化とグローバル化

欧米ではリサイクル業者の大規模化とグローバル化が進んでおり、リサイクルメジャーと呼ばれる大手業者による寡占化が進んでいます。近年では日本への進出も始まっています。

一方、日本においては、鉄スクラップ業者の設備稼働率は50%程度との調査結果もあり、廃業する業者が増えています。また、小規模な業者が多く、グローバルに展開する企業はごくわずかとなっています。

近隣の業界をみても、国内におけるマーケット縮小とグローバル化する経済の中で、新日鐵住金グループやエムエム建材のように合従連衡が進んでいます。

2. これまでの取り組み

これまで我々4社を含む7社による包括業務提携（アライアンスグループ「ROSE」）は、様々な分野において、定期的に勉強会や意見交換を行っており、今後はアライアンスグループとしてさらに共同事業を進める予定となっております。

さらに、我々4社は上記経営環境の変化へ対応し、より具体的に共同事業を推進するために、まずは営業エリアの近接する東日本エリアで事業展開する4社で合弁会社を設立することに合意いたしました。

3. 合弁会社設立の意義・目的

(1) 合弁会社のミッション

私たちは100年先を見据えて、

- ・東日本から、日本型リサイクルメジャーの礎を築きます
- ・持続可能で、主要な社会インフラとしての静脈産業の基盤を確立します

(2) 合弁会社の行動指針

本合弁会社は信頼に基づいて構成され、平等・誠実な関係を維持して運営します。

また、合弁会社は困難な課題解決に挑戦し、社会の求めるスピードで、最後まであきらめずにやりきることを重視して運営します。

そして、合弁会社は、価値観を共有し同じ方向へ向かう参加者を受け入れる、オープンな組織となることを目指します。

4. 合弁会社の事業内容等

(1) 共同事業の内容

① 共同販売

我々4社は東日本各地に拠点を展開し、地域に根差したサービス提供を通じて200万t/年の鉄・非鉄・古紙スクラップ取扱高を有しており、合弁会社を通じた共同販売によって、スケールメリットを活かしたビジネスを行います。

国内外の大口のオーダーに対して安定して高品質な製品を供給できる体制を整えます。大型船を用いた出荷は、リードタイムが長く、価格変動リスクが高まりますが、4社でリスクを分散することにより、近年高まる大型船を用いた出荷のニーズにも対応することができます。

合弁会社設立後、速やかに合弁会社に交渉の窓口と、販売・出荷業務を担当する部門を設置し、各社においては共同出荷を行うための体制を整えます。

② 共同仕入

我々4社は、これまで培ってきた鉄・非鉄スクラップ、廃自動車及び廃棄物処理の収集運搬からリサイクル、最終処分にまで対応できる高い技術力、ノウハウ、ネットワークを活かし、合弁会社を通じて、まずは東日本エリアをカバーする、廃棄物処理及びリサイクルを行うネットワークを構築します。

合弁会社設立後、速やかに合弁会社に営業体制を整え、仕入関連業務を担当する部門を設置し、各社においては共同仕入を行うための体制を整えます。

③ その他の事業

設備や資材の共同購買、リサイクル技術の高度化に向けた共同研究、海外などの将来的な新事業企画、業務の効率化のためのノウハウの共有などを行います。

(2) 合弁会社の概要

① 名 称	株式会社アール・ユー・エヌ (通称：ラン)
② 所 在 地	東京都 (予定)
③ 役員等の役職・氏名	代表取締役会長 鈴木 孝雄 代表取締役社長 安東 元吉 取締役 杉山 博康 取締役 山口 章
④ 資 本 金	25 百万円
⑤ 設 立 年 月 日	2017 年 7 月 (予定)
⑥ 決 算 期	12 月
⑦ 出 資 比 率	スズトクホールディングス株式会社 25% 株式会社マテック 25% 株式会社やまたけ 25% 株式会社青南商事 25%

⑧ ステートメント

地域の個性あるリサイクルカンパニーが広域で手を組むことで、
知恵と技術とノウハウを結集し、「点」から「面」で、
世界に無くてはならない、持続可能な静脈インフラ・ネットワークを。
私たちは 100 年先を見据えて、
東日本エリアから日本型リサイクルメジャーとして礎を築きます。

⑨ ロゴマーク



<名称とロゴマークに込めた思い>

東日本エリアのリサイクルカンパニーが手を結んで、
グローバル競争にも向き合えるプラットフォーム“Recyclers Union of Nippon”として名乗りを
あげます。

RUN は、走る、走り続ける。そして動く、広がる。そんな意気込みのある言葉。
私たちは日本のリサイクルカンパニーが持つ知恵と技術とノウハウを結集し、
世界に無くてはならない、持続可能な静脈インフラをつくりあげます。
循環型社会が待っていた“日本型リサイクルメジャー”が走り始めます。

5. 合併事業参加各社の概要

(1) 名 称	スズトクホールディングス株式会社
(2) 所 在 地	東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル 15 階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 鈴木 孝雄
(4) 事 業 内 容	鉄、非鉄スクラップ加工処理および産業廃棄物の収集運搬・中間処理業
(5) 資 本 金	100 百万円
(6) 売 上 高	29,958 百万円 (2016 年 6 月期連結)
(7) 設 立 年 月 日	2007 年 7 月 2 日 (創業 1904 年 2 月)

(1) 名 称	株式会社マテック
(2) 所 在 地	北海道帯広市西 21 条北 1 丁目 3 番 20 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 杉山 博康
(4) 事 業 内 容	鉄、非鉄スクラップ、紙の収集運搬、加工、リサイクル等
(5) 資 本 金	96 百万円
(6) 売 上 高	17,055 百万円 (2016 年 12 月期)
(7) 設 立 年 月 日	1960 年 1 月 12 日

(1) 名 称	株式会社やまたけ
(2) 所 在 地	東京都足立区西新井 5 丁目 35 番 13 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 山口 章
(4) 事 業 内 容	鉄・非鉄スクラップ加工処理業 産業廃棄物中間処理、収集運搬、自動車、家電リサイクル
(5) 資 本 金	10 百万円
(6) 売 上 高	1,469 百万円 (2016 年 3 月期)
(7) 設 立 年 月 日	1965 年 4 月 1 日

(1) 名 称	株式会社青南商事
(2) 所 在 地	青森県弘前市神田 5-4-5
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 安東 元吉
(4) 事 業 内 容	非鉄金属、製鉄原料の回収、加工及び販売
(5) 資 本 金	98 百万円
(6) 売 上 高	15,115 百万円 (2016 年 12 月期)
(7) 設 立 年 月 日	1972 年 9 月 1 日

6. 日 程

(1) 契 約 締 結 日	2017 年 5 月 8 日
(2) 設 立 予 定 日	2017 年 7 月 (予定)

以 上